

附 錄

大正三年度福井縣學事狀況

總 說

大正三年度ニ於テ掌理シタル教育事務ノ梗概ヲ舉ゲルハ前年來施設セル方針ニ基キ學齡兒童ノ就學獎勵及兒童出席ノ督勵ニカムル等內容ノ充實改善ヲ圖リ以テ教育ノ普及徹底ヲ期シタリ

師範學校中學校高等女學校及實業學校ニ在リテモ內容ノ充實改善ニカテ用井タルコト前年ノ如シ

本年度初四月 昭憲皇太后崩御アリ臣民タルモノノ恐懼措ク能ハサル所ナリシカ學校ニ於テハ直ニ休業シテ奉悼ノ意ヲ表シ而シテ大喪期間ハ謹慎肅爾ヲ旨トシテ服喪シ且遙拜式ヲ舉タケル等猶大正元年ノ諒闇中ニ於ケル如シ

又八月ニハ帝國ト獨逸帝國等トノ和破レ戰ヲ宣セラレルヤ聖旨ヲ奉戴シテ忠君愛國ノ精神ヲ發揮シ奮勵臣民ノ本分ヲ完フシ以テ軍國後援ノ實ヲ舉ケシメンコトニ深ク注意スル所アリタリ

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ男五萬六千八百三十三人女五萬二千六百九十八人ニシテ内就學ノ始期ニ達シタル者男四萬八千九百四十七人女四萬五千二百二十八人ナリ其ノ就學ノ歩合ハ男九十九人二分七厘女九十八人二分平均九十八人七分六厘ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ女五厘平均二厘ヲ増シタリ凡ソ就學ニ關シテハ法令ノ示ス所ニ依リ督責シ一面市町村ニ於テハ教育會學齡兒童保護會等ノ事業ヲ以テ貧困兒童ニ對シ食費ノ一部ヲ給シ或ハ學用品ノ給與貸與ヲ爲ス等貧困者ノ子弟ヲ督勵就學セシメ本縣教育資金中ヨリハ金員ヲ交附シテ同事業ヲ補助シ獎勵セルコト前年ノ如シ斯クノ如クニシテ實ニ就學ニ堪ユヘカラサル疾病ノ不具瘵疾又ハ極貧止ムヲ得サルモノノ外免除若ハ猶豫ヲ與ヘス故ニ就學ノ內容益々進歩スルニ至レリ

小 學 校

學校設置廢止並設備 學校ノ尋常百五十七、尋常高等百二十九、高等ニシテ外ニ尋常分教場百二十八アリ之ヲ前年ニ比スルニ尋常十三校分教場三ヶ減シ尋常高等九校ヲ増シタリ而シテ各學校ノ設備ハ殆ト完成セリト謂フヘキナリ

學級編制 學級ハ尋常千七百高等百九十一ニシテ前年ニ比シ尋常二十高等六ヶ増シタリ

二部教授 校舍營繕工事ノ爲一時三部教授ヲ爲シタルモノナキニアラサルモ年度末ニ於テハ行フモノナシ

補習科及加設科目 補習科ヲ置クモノナシ又加設科目ヲ課スル學校ハ尋常百四十五、分教場六十六、高等百二十九アリ其ノ詳細ハ乙號表二所掲ノ如シ

授業料 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徴收スルモノ福井市八校 敦賀町二校アルノミナルモ高等小學校ニ於テハ授業料ヲ徴

收スルモノ百二十校ニ及ヘリ

教員 本年度末ニ於ケル本科正教員ハ男千五百五十二人、女四百三十一人計千五百八十三人ニシテ學級總數千八百九十一ニ比スルトキハ三百八人ノ不足ナリトス是ハ准教員代用教員ヲ以テ補充ス而シテ正教員ノ勤續者ハ三十年以上六人、二十五年以上二十二人、二十年以上六十人、十五年以上九十五人、十年以上二百六十八人、五年以上四百三人ナリ外ニ專科正教員ノ勤續者ハ十五年以上一人、十年以上七人、五年以上二十四人アリ

俸給ハ尋常小學校ノ教授ニ從事スル小學校本科正教員男貳拾貳圓六拾貳錢七厘、女拾四圓九拾四錢壹厘、尋常小學校本科正教員男拾六圓拾七錢六厘、女拾壹圓八拾參錢五厘、高等小學校ノ教授ニ從事スル小學校本科正教員男貳拾參圓九拾錢九厘、女拾七圓八拾八錢九厘ナリ

幼 稚 園

幼稚園ハ市立一町立一私立ニアリ前年ニ比シ私立一ヶ増シタリ市立順化幼稚園ハ順化尋常小學校敷地内ニ設ケラレ町立小濱幼稚園ハ寺院境内ニ園舎ヲ有シ何レモ設備相當ニ完全ト認メラレ私立三園ハ福井市内ニ在ルモノニ 南條部武生町ニ在ルモノ一ニシテ何レモ基督宣教師ノ經營ニ係ル其ノ武生町ニ於ケル愛光幼稚園ト稱スルハ九月ノ設立ニシテ初メ入園ノ幼兒多カリシカ基督教勸誘ノ爲ナリト稱シ之ヲ嫌厭シテ漸次減少ノ傾アリ

福井縣師範學校

學校ノ設備 本校ハ敷地一萬三千三百二十五坪七合一勺建家二千九百九十九坪一合四勺農業實習ニ通スル橋梁一箇所十五坪二合ヲ有シ外ニ農業實習用借地(民地)田二百九十九坪畑千六百五十二坪樹木實習用借地(本縣模範林)一萬八千坪アリ本學年ニ於テハ男子部浴場ノ井戸一箇所ヲ掘鑿セリ其ノ他圖書器械標本類ハ漸次購入シ管理教授上支障ヲ見ス有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總テ二十五人ニシテ男二十二人女三人ナリ是皆教諭ニシテ助教諭ヲ有セス今教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ舉ケレハ次ノ如シ

東京高等師範學校修身教育專修科卒業	1
同 地理歷史專修科卒業	1
同 本科博物學部卒業	1
同 國語漢文專修科及研究科卒業	1
同 本科數物化學部卒業	1
同 本科英語部卒業	1
同 本科英語部研究科修身部卒業	1
同 本科地理歷史部卒業	1

廣島高等師範學校本科英語部卒業	1
私立東京國學院大學師範部國語漢文科卒業	1
商業教員養成所卒業	1
農業教員養成所卒業	2
東京音樂學校甲種師範科卒業	1
日本體育會體操學校高等科卒業	2
私立東京物理學校卒業	1
東京美術學校彫刻科卒業	1
其他試験檢定	4
以上男子	22
東京女子高等師範學校技藝科卒業	1
同 理科卒業	1
試験檢定	1
以上女子	3

生徒調育ノ狀況 生徒ヲシテ將來教育者タルヘキ明確ナル自覺ヲ得シムルノミナラス現今國勢ノ進運ニ鑑ミテ教育者ノ當ニ發奮スヘキ秋ナルヲ悟領セシメテ以テ其ノ修養ニ努力セシメタルハ前年ニ異ナラス就中元氣ヲ振作スルコト獨立進取ノ氣象ヲ養成スルコト公明率直ノ氣風ヲ養成スルコト奢侈懦弱ノ風ヲ戒メテ浪費ヲ節約スルコト上級生ヲ督勵シテ學友切磋ノ道自治共同ノ良風ヲ興サシムルコト等ニ勉メ成績稍觀ルヘキモノアルニ至レリ女生徒ニ就キテハ特ニ質素堅實綿密勤勉親切等ノ風ヲ養成センコトヲ勉メ小學校教員トシテ女子ノ特長ヲ發揮スヘキ學科及作業ニ對シテハ特ニ力ヲ用フシメタルコト前年ノ如シ

本年度亦 昭憲皇太后ノ諒閣中ナリシヲ以テ諸事謹慎ヲ旨トシ娛樂ニ亘ル行動ヲ避ケシメタリ但シ秋季ニ於テ運動會ヲ行ヒタリ

生徒學業ノ進否 本年度ノ卒業生モ第一部生ハ初メ豫備科ヲ修了セシ者ノ入學シタルモノナルヲ以テ一般ニ學力劣等ナラス而シテ全生徒ニ就キテ觀ルニ概ネ進歩セリ今兩年度ニ於ケル生徒得點平均ヲ舉クレハ次ノ如シ

	大正二年度		大正三年度	
	男	女	男	女
本科第一部	81.0	81.0	81.2	80.5
本科第二部	79.0	77.0	77.0	77.3

生徒修學旅行ノ狀況 前年度ヨリ生徒旅行費全廢セラレタルモ必要ヲ認ムルヲ以テ生徒及指導職員ハ自費旅行ヲ爲セリ其ノ出發前ニ於テ觀察研究ノ細目ヲ指導シ歸校後各成績ヲ報告セシメタリ其ノ旅行種類日數等ヲ舉クレハ次ノ如シ

管外旅行	人員	旅行地	日數	
				第二學年
第三學年	女	35	京阪地方	5
第四學年	男	27	東京地方	10

參觀旅行	人員	旅行地	日數	
				第四學年

第四學年	男	64	丹生郡	4
第四學年	女	35	吉田郡大野郡	4
第二部	男	16	南條郡今立郡	4
講習科第二學年	男	21	坂井郡	4
第二部	女	27	敦賀郡	4
白山旅行				
第三學年	男	52	石川縣能美郡白山	9
第二部				
講習科				
一部				
水泳旅行				
第一二四學年	男	170	坂井郡米ヶ脇	10
第二部				
講習科				
一部				
兵式旅行				
全學年	男	214	吉田郡足羽郡坂井郡	3

遠足旅行 長距離走トシテ男生徒全部ヲ丸岡町地方(福井市ヲ距ル三里)ヘ赴カシメ又男生徒ヲ二回女生徒ヲ四回近郊ヲハ數里ノ地ヘ遠足旅行ヲ爲サシメリ

入學者父兄ノ職業別次ノ如シ

	農業		工業		商業		庶業		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本科第一部	29	13	1	1	—	8	10	12	40	34	74
本科第二部	17	4	—	1	1	2	4	11	22	18	40
總計	55	21	2	5	1	11	16	31	74	68	142

×印ハ私費生ナリ

卒業者就職ノ狀況 本年度卒業生中本科第一部第二部及講習科男子ハ全部就職シタルモ本科第一部女子ニ於テ東京女子高等師範學校ヘ入學シタル者二名、第六臨時教員養成所ヘ入學シタル者一名アリ又本科第二部女子中公費生ニ於テ義務免除出願中ノ者一名同私費生ニ於テ同一名未就職ノ者四名アリ

附屬小學校ニ關スル狀況 本學年中特ニ注意セシ教授訓練實踐等ニ關スル梗概ヲ舉クレハ次ノ如シ

教授 理科ニ就テハ兒童ヲシテ自ラ實驗觀察セシムルコトニ去ル元年度以來注意セルカ本年度ニ於テハ特ニ之カ系統的的研究ヲ達ケ兒童實驗ニ要スル器具ヲ備ヘ直視材料ヲ調ヘ專ラ兒童ヲシテ發動的ニ學習セシムルコトニ勉メ、體操科ニ就テハ前年度ニ於ケル縣下聯合教授法研究會ノ研究ニ基キテ教授細目ヲ訂正シ器具ノ完備ヲ計リ以テ教授要目ノ精神ノ貫徹ニ注意セリ、手工科ニ就テハ教材選擇ノ標準ヲ低學年ニ於テ陶冶主義ヲ取り漸次學年ノ進ムニ隨テ實用ヲ主トセルカ本學年度ニ於テハ教材ノ分量ヲ一層減少シ種類ヲ成ルヘク模式的ノモノヨリ取り製作ノ技術ヲ充分ナラシメ考案工夫ノ餘地ヲ與ヘテ獨立自爲勤勞ヲ好ムノ習慣養成ニ勉メ尙材料ノ節約經濟上ヲ顧慮スルト共ニ廢物利用ノ必要ヲ説キ常ニ生活上實地ニ應用セシムルコトニ力メタリ、其ノ他ノ諸教科ニ於テモ從前ノ研究ヲ繼續シ之カ實績ヲ舉ケ

ルコトニ注意セリ

訓練 從來ノ主義ニ則リ特ニ誠實元氣規律ノ諸徳養成ニ勉メタルカ學年初ニ方リ畏クモ 昭憲皇太后崩御アリ天下再ヒ諒闇トナルヤ直ニ其ノ心得ヲ指示シ又八月日俄國交斷絶シテ干戈ヲ交フルニ至ルヤ兒童控所ニ歐洲戰局地圖青島要塞地圖ヲ掲ケ傍ラ學校新聞ニ重要記事ヲ載セ以テ其ノ經過ヲ知ラシムル外戰況及戰時ニ於ケル心得ヲ講話スル等國民的思想國家的情操ノ養成ヲ圖レリ

養護 從來ノ鍛鍊主義ニ依リ諸種ノ方面ニ注意シ特ニ兒童控所ニ屋內角力場ヲ設ケテ角力ヲ獎勵シ又本學年ニ於テ初テ斷郊競争ヲ試ミタリ其ノ他運動會遠足會等凡テ層形式ヲ違ケ專ラ實質ヲ重シテ之ヲ施行シタルハ何レモ相當ノ効果ヲ收メ得タルヲ信ス

教生指導 去ル明治四十一年度以來教生練習期ノ足初ニ於テ教科主任訓導ハ各教科ニ就キ當校ニ於ケル教授ノ方針ヲ講話シタルカ本學年度ニ於テハ單ニ方針講話ニ止ムルコトナリ各訓導ハ横ニ教授ヲ行ヒ之ニ關聯シテ一般教授上ノ注意ヲ話スコトトセリ尙教生ノ作業トシテ餘暇ヲ以テ器械標本掛圖ノ整理製作等ヲ爲サシメ其ノ分類ヲ確實ナラシメ之カ活用ニ便セリ具ノ他從來ニ異ナラス

地方トノ聯絡 主事ハ講演ノ爲ニ三回訓導ハ實地授業ノ爲ニ四回講習講演等ノ爲ニ三回地方ニ出張シ以テ聯絡ヲ圖リ又六月二十二日尋常第五六學年地理第四學年讀力ノ研究教授ヲ行ヒ之ヲ公開セシメ參觀者百六名ヲ算スルニ至リ又十二月四五ノ兩日ヲ以テ第五回縣下聯合教授法研究会ヲ當校ニ開テト小學校ニ於ケル理科教授ヲ研究シタルニ地方ヨリ出席セル代表者五十六名ニ及ヘリ又福井市内小學校ト聯合シテ組織セル學年研究会教科研究会、協議會等ハ前學年ニ繼續シテ之ヲ開キ一層有効ナラシムルコトニ力メタリ

其ノ他ノ施設ニ至リテハ前年度ニ同シ

代用附屬小學校 關スル狀況 明治四十四年度ヨリ吉田郡四山西村立道明尋常小學校(福井市接壤地ニ在リ)ヲ代用附屬小學校ト爲シテ之ヲ實施シ大正三年度ニ於テモ縣費四百六拾圓ヲ圖校ニ補助セリ而シテ教授訓練等ニ關シテハ略前年ニ異ナラス今實習シタメ教生及時數等ヲ掲クレハ次ノ如シ

	教生	實習時數	平均實習時數
第一部 男	7	537	77
第一部 女	10	369.5	37
第二部 男	7	429	61
第二部 女	11	332	30
講習科	6	43	7
計	41	1,710.5	42

尙教生ノ特別練習ヲ行ヒタルコト四回、附近ノ小學校ヲ參觀シタルコト五回ニ及ヘリ

講習科ニ關スル狀況 尋常小學校本科正教員養成ノ爲ニ設ケル講習科ハ卒業後縣下ニ於ケル需用切ナルニモ拘ラス年々志望者減少ノ狀ヲ呈シ本年度初ニ於テ第一學年入學志願者ハ五十六人ニシテ其ノ内二十五人ノ入學ヲ許可シタリ而シ

テ第二學年ヲ修了シタル者ハ二十一一人ナリ

其ノ他略前年ニ異ナラス新ニ施設シタル事項無シ

中 學 校

學校ノ設備 中學校ハ現在五校ニシテ縣立四校私立一校ナリ即チ前年ニ比シ増減無シ校舍ハ福井中學校ニ於ケル舊式ノ一棟ハ教室トシテ不充分ノ點アリ早晚改築ヲ要ス且ツ武術道場ハ特設ノモノナク屋內體操場ノ一隅ヲ使用スルヲ以テ多少不便ヲ免レス其ノ他各校多少ノ修繕工事ヲ施シタルノミナルカ私立北陸中學校ハ生徒下足置場、同附屬廊、銃器置場、門衛所等ヲ新築シ寄宿舎一棟ヲ移轉シ以テ設備ヲ整善シタリ又各校トモ圖書器械標本及器具類ハ到底完全ト謂フヘカラサルモ漸次之ヲ購入シ或ハ改良ヲ圖リツツアリ有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ總テ七十六人ニシテ其ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ掲クレハ次ノ如シ

	縣 立				私立北	合計
	福井中學校	大野中學校	武生中學校	小濱中學校	陸中學校	
東京帝國大學文科大學卒業	1	1	1	2	3	8
東京帝國大學理科大學簡易講習科卒業	—	1	—	—	—	1
東京高等師範學校卒業	3	1	1	1	1	7
廣島高等師範學校卒業	—	—	—	1	—	1
京都帝國大學文科大學撰科卒業	—	1	—	—	—	1
第二臨時教員養成所卒業	—	1	1	1	1	4
第三臨時教員養成所卒業	—	—	1	1	—	2
東京外國語學校卒業	1	2	—	—	1	4
東京美術學校卒業	1	—	1	1	1	4
私立國學院大學卒業	2	—	—	—	—	2
私立早稻田大學卒業	1	—	3	—	—	4
私立青山學院高等本科卒業	—	—	1	—	—	1
私立日本大學高等師範部卒業	1	—	—	—	—	1
神宮皇學館卒業	—	1	—	—	—	1
私立東洋大學專門部卒業	—	—	1	—	—	1
日本體育會體操學校卒業	1	—	—	1	—	2
元陸軍教導團歩兵科卒業	—	—	—	1	—	1
陸軍歩兵特務曹長	—	—	—	—	1	1
試験檢定	16	3	4	3	3	29
其他無試験檢定	—	—	—	—	1	1
總 計	27	10	15	12	12	76
		1	1			2

生徒訓育ノ狀況

福井中學校 每學級擔任者ヲ置キ生徒ノ操行身體ニ就キ常ニ注意指導ヲ怠ラス且ツ便宜父兄ヲ招喚シ或ハ家庭ヲ訪問シ家庭及本人ノ習癖交友等ヲ知悉スルニカメ本年度ヨリ通信簿ニ依リテ家庭トノ連絡ヲ一層密ニセリ又生徒ノ出身學區ニ就キテ各數名ノ校外監督ヲ置キ監督者ハ各自受持ノ會ニ出席シ或ハ訓話ヲ試ミ或ハ共ニ遠足旅行シ以テ師弟間ノ情誼ヲ厚カラシム又第五學年生ヲ以テ風紀生トシ生徒ノ風紀改善ニ盡力セシメ控所ニハ古今ノ格言ヲ揭示シ智徳ノ修養ニ資シ勤勞ヲ重シ清潔ヲ愛スル習慣ヲ養フハカ爲教室ノ掃除校域内ノ除草ヲ爲サシム

大野中學校 每朝生徒控所ニ就キテ服裝等ノ檢閲ヲ爲スノ際臨機訓示スルコトアリ又各學級ニハ主任教師ヲ配シ訓育ニ當ラシメ別ニ職員中當番監督ヲ定メ又生徒監督ヲ特設シテ校内ノ風紀規律ヲ監督セシム其ノ他生徒宿所ノ檢分家庭ノ訪問ノ父兄會ノ開會、生徒成績ノ通知、休業中ノ行狀視察ノ事及教室ノ灑掃裁園除草ヲ生徒ヲシテ爲サシムルコト及賞罰ヲ旨トスルコト等舊制前年ニ異ナラス

武生中學校 每朝職員生徒一堂ニ會シ朝禮呼吸運動服裝檢査ヲ行ヒ又隨時訓話ヲ爲シ或ハ有益ナル圖書ノ閱讀武道ノ獎勵ヲ圖リ又學級主任教員及生徒監督ヲ置キ學業操行ノ督勵監視風紀ノ振肅ニ勉ム又自宅以外ノ外泊生ノ宿所ノ撰擇ニ注意シ尙通學區ヲ八區ニ分テ每區監督ヲ置キ其ノ區上級生數名ヲ以テ係員トシ以テ生徒相互間ノ親睦ヲ圖リ又每區父兄會ヲ開キ家庭トノ連絡ヲ取ル等概シ前年ノ如シ

小濱中學校 各學級ニ主任一人ヲ置キ指導監督セシメ又三人ノ生徒監督ヲシテ生徒ノ規律風紀ヲ取締ルコトトシ學級主任ハ生徒ノ宿所撰擇ニ留意シ生徒日常ノ生活勉學ノ情況ヲ調査シ出席ニ關シテモ之ヲ督勵シ又教室ノ整頓、灑掃運動會場、水泳場ノ設備學校園ノ手入れ等モ臨機生徒ヲシテ之ヲ行ハシム又其ノ他學資ノ節約ヲ圖リ休暇ヲ利用スルコトニ勉メシメタルコト亦前年ニ異ナラス

北陸中學校 時々訓育上ノ講話ヲ爲シ個人調査簿ヲ備ヘ家庭ノ狀態、學資ノ出所、性癖、成績等ヲ明細記入シ以テ參考トスルコト及生徒監督、學級監督ヲ設ケテ監督シ時々生徒ノ宿所ヲ巡視スルコト前年ニ同シキモ尙本年ハ生徒監督シテ劇場等ノ巡視ヲ精細ニシ殊ニ校内ニ於ケル風紀取締ノ爲職員一名交替之ニ從事シ且ツ第五學年生ヲシテ每週六名補佐セシムル事ニ定メアリ

生徒學業ノ進否 縣下中學校生徒ヲ通シテ其ノ平均點ハ前年及本年トモ孰モ七十二點ニシテ詳記スレハ次ノ如シ

	大正二年度				大正三年度			
	生徒總數	落第首	落第割合	總平均點	生徒總數	落第首	落第割合	總平均點
福井中學校	583	41	7.0	70	585	44	7.5	71
大野中學校	274	19	6.9	74	268	27	1.01	73
武生中學校	358	21	5.9	72	376	18	4.8	72
小濱中學校	242	12	5.0	76	253	19	7.5	77
北陸中學校	303	35	1.16	70	392	44	1.12	70
計	1,760	128	7.3	72	1,874	152	.81	72

生徒修學旅行ノ狀況 前年ハ經費ノ都合ニ依リ縣立中學校ハ修學旅行ヲ行ハサリシカ本年武生中學校ニ在リテハ全生徒吉田郡永平寺ニ到リ一泊シテ歸校セリ又私立北陸中學校第二學年以上二百八十三人、職員十三人ハ六月一日未明汽車ニ乘シテ京都ニ到リ本願寺ニ詣シ伏見桃山兩御陵ニ參拜シ然ル後京都市内名所史蹟ヲ巡覽シ三日未明歸校セリ

入學志願者ニ關スル狀況 入學志願者ハ小濱中學校ヲ除クノ外縣私立各中學校トモ其ノ募集人員ヲ超過シ福井中學校ノ如キハ百五十七人ノ募集ニ對シ四百十八人ノ多キヲ見タリ是ハ本縣中央ノ都會地ニ在リ人煙稠密交通便利ナルト創立最古キヲ以テノ故ニシテ武生中學校モ亦百人ノ募集ニ對シ二百二十九人ノ多キ志願者ヲ見タルハ所在地タル武生町ハ交通ノ便宜シク附近村落ノ稠密ナル爲ニ外ナラス又私立北陸中學校ハ近年大ニ規模ヲ擴張シ設備ヲ完成シタルト兵庫縣下私立武庫中學校ニ因リ同校在學ノ生徒ニシテ同シク本願寺立タル本校ニ轉學ヲ志望シタルモノ多キ爲著シク其ノ數ヲ増シタリ

入學者父兄ノ職業 入學者ハ總テ六百三十六人ニシテ其ノ父兄ノ職業ヲ觀ルニ農業二百六十八人、工業十八人、商業五十八人、庶業二百八十六人、無職十四人ナリ今之ヲ細別スレハ次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
福井中學校	第一學年	57	6	19	75	157
	第三學年	—	—	—	2	2
	第四學年	—	—	—	2	2
	第五學年	—	—	—	1	1
	計	57	6	19	80	162
大野中學校	第一學年	35	3	9	47	80
	第二學年	—	—	—	4	4
	第三學年	—	—	—	4	4
	第五學年	—	—	—	3	3
	計	35	3	9	44	91
武生中學校	第一學年	65	1	6	72	98
	第二學年	—	—	—	4	4
	第三學年	—	—	2	—	2
	第四學年	3	—	—	3	6
	第五學年	1	—	—	1	2
計	69	1	8	28	112	
小濱中學校	第一學年	42	3	14	59	78
	第三學年	1	—	—	1	2
	計	43	3	14	16	80
北陸中學校	第一學年	38	4	6	48	89
	第二學年	8	—	—	17	26
	第三學年	5	—	1	31	38
	第四學年	3	1	1	31	36
	第五學年	1	—	—	—	1
計	56	5	8	118	191	
總計	260	18	58	286	14	636

補習科ニ關スル狀況 初メ福井中學校ハ四十四人武生中學校ハ十人、小濱中學校ハ四人ノ補習科生アリシカ武生ハ六月末小濱ハ七月中福井ハ八月末ヲ以テ閉鎖シタリ

福井高等女學校

學校ノ設備 校地校舍トモ前年ニ異ナラサルモ現今ノ寄宿舎ハ構造完全トイフヲ得ニ適當ノ修繕ト更ニ舎室及病室ヲ増築スルノ必要アリ圖書器械標本類ハ年月々購入スルヲ以テ教授上

不便ヲ感スルカ如キコトナシ
有資格教員ノ員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ男
七人(内他ヨリ兼務一人)女九人ニシテ其ノ教員免許狀ヲ受
得シタル事由次ノ如シ

東京高等師範學校卒業	1
東京帝國大學醫科大學藥學科選科卒業	1
東京美術學校卒業	1
日本體育會體操學校卒業	1
試驗檢定	2
東京高等商業學校商業教員養成所卒業兼任	1
以上男子八人内專任七人兼任一人	
東京女子高等師範學校卒業	4
東京音樂學校卒業	1
東京裁縫女學校高等師範科卒業	2
私立津田英語塾卒業	1
試驗檢定	1
以上女子 九人	

生徒訓育ノ狀況 教育ニ關スル勸告並及申證書ノ御趣旨ヲ奉
體シ體育德育智育ノ増進啓發ニ留意シテ健全ナル女子ノ
資質ヲ備ヘシメンコトヲ期シ之カ方法トシテ春秋二回遠足
運動ヲ爲シ年十回講堂教訓ヲ行ヒ年一回父兄懇談會、年三
回名士ノ講演會ヲ開ケリ

生徒學業ノ進否 生徒ノ出席ヲ獎勵スルト同時ニ教授法ノ研
究並教科書ノ變更ヲ行ヒ大ニ學業ノ進歩ニ留意シ特ニ實際
ノ應用ニ敏活ナラシメンコトヲ圖リ各科研究會、特別教授、
休暇課題、常識修養、生徒交際、學校新聞等ノ施設ヲ爲シ
タリ而シテ生徒總平均點ハ本科及實科孰モ八點ニシテ前年
ニ比スレハ幾分優レタルヲ見ル

入學者父兄ノ職業別次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	其他	計	
本科	第一學年	23	6	26	35	9	99
	第二學年	1	—	1	3	—	5
	第三學年	—	—	—	2	—	2
計	24	6	27	40	9	106	
實科	第一學年	19	2	11	16	2	50
	第二學年	1	—	1	2	—	4
	計	20	2	12	18	2	54
總計	44	8	39	58	11	160	

補習科ニ關スル狀況 本年度ニ於テハ本科補習科生總テ七八
アリシカ其ノ内一人ハ半途退學シ一學期間修了退學シ餘ノ
三人ハ一箇年間在學修了セリ而シテ其ノ修了者三人中一人
ハ女子高等師範學校ニ入學シ他ノ二人ハ師範學校第二部生
トナレリ

本校本科第二學年生一名大正三年二月五日寄宿舎在在中疾病
ニ罹リタルカ數日ヲ以テ福井病院ニ入院セシメシニ其ノ病名
猩紅熱ナリシヲ以テ直ニ應急ノ策ヲ行ヒ即該患者同室ノ寄宿
生七名ニ對シテ他ノ一般生徒トハ隔離方法ヲ取リ一週日ノ登
校ヲ停止シ舎監三名ハ是亦他ト隔離シ一週間ノ出勤ヲ止ムル

等大ニ病毒ノ傳播ヲ防禦シ之カ撲滅ヲ圖リタルカ其ノ後本年
度ニ入りテモ再ヒ斯クノ如キ傳染性病患者ヲ發生スルコト無
ク經過シタルハ幸ト謂フヘキナリ

武生町立實科高等女學校

學校ノ設備 前年度ニ於テ校舍増築落成セシヲ以テ本年度ニ
於テハ生徒定員ヲ増加シテ二百五十人トシ設備漸ク完成シ
教授上管理上遺憾ナキニ至レリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ專
任男三人、女二人、兼任男二人ニシテ其ノ教員免許狀ヲ受
得シタル事由次ノ如シ

東京高等師範學校卒業	1
國學院大學師範部卒業	1
東京物理學校卒業(試驗檢定)	1
以上男子專任	
東京帝國大學文科大學卒業	1
私立早稻田大學卒業	1
以上男子兼任	
奈良女子高等師範學校卒業	1
試驗檢定	1
以上女子專任	

生徒訓育ノ狀況 教育勸告及申證書ノ御趣旨ニ基キ教訓ヲ
守ラシメ貞淑ノ美德ヲ涵養シ藝術ヲ練習シ勤勞ニ堪ヘ實踐
躬行スルノ方針ヲ以テ訓育ヲ施スコト前年ニ異ナラス
生徒學業ノ進否 學科及實科トモ漸次進歩ノ趨勢ナリ
入學者父兄ノ職業 第一學年五十人第二學年三十四人ノ入學
者ノ父兄ノ職業別ハ次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職業	計
第一學年	22	6	11	10	1	50
第二學年	16	4	7	6	1	34
計	38	10	18	16	2	84

生徒實習及修學旅行 家事裁縫及作法等ハ教授時間外ニ於テ
モ時々實地復習ヲ爲シ又每學期文藝會ヲ開キ其ノ際ニ於テ
モ實地ニ之ヲ行ハシム修學旅行トシテハ未タ之ヲ行ハス只
秋季ニ於テ附近ノ村落ニ兩三回遠足運動ヲ行ヒタルノミナリ

實業學校

福井農林學校

學校ノ設備 校地校舍トモ從來ノ如クニシテ生徒控所ノ改築
寄宿舎ノ増築等ヲ要スルモノアルモ未タ施工ノ機運ニ達セ
サルカ本年度ニ於テハ校外寄宿舎ヲ設ケ一年級ノ入舎希望
者中ノ幾分ヲ收容セリ此ノ建坪二十八坪ナリ又本年四月桑
園トシテ一段四畝二十一歩ヲ賃借シ演習林トシテ無償借入
レタルモノ山林五十八町歩ニ及ヒタリ而テ其ノ演習林所在
地ナル大野郡平泉寺村地籍内ニ演習林小屋二十五坪餘ヲ
築セリ

教授用器具器械標本等ハ必要ニ應ジ年々多少ノ買入ヲ爲シ

補充スルモ未タ十分ト謂フヲ得ス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任十一人、兼任二人ニシテ其ノ資格別次ノ如シ

學士ト稱スルコトヲ得ル者	專任三人、兼任一人
文部大臣ノ指定シタル者	專任五人、兼任一人
文部大臣ノ認可シタル者	專任三人

生徒訓育ノ狀況 教師ヲシテ實踐躬行身ヲ以テ生徒ヲ率ユルノ覺悟ヲ持セシムルト同時ニ生徒ヲシテ克ク其ノ本分ヲ守リ良習慣ヲ養成セシメシムルコトニ努メ生徒必携簿ヲ讀ク學年擔任教師、校外監督、寄宿舎監督、級長、副級長、舎長、週番炊事係ヲ定メテ以テ訓育ニ注意セルコト前年ニ異ナラス又補助機關トシテ農友會級會寄宿舎共同販賣部等ノ設ケアルコト亦前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 本學年ニ於ケル及第者百八十一人落第者十七人ニシテ前年ニ比スルトキハ及第者二人ヲ減シ却テ落第者五人ヲ増シタルニ因リ生徒一般ノ學業ハ寧ろ退歩シタルカ如クナルモ落第者中ニハ病氣缺席ニ由リモノ多キヲ以テ其ノ實際ハ一ニ退歩ト目スヘカラサルナリ

生徒實習及修學旅行ノ狀況

實習 每週水土ノ二曜日ヲ除キ學科終了後一時間半乃至二時間實習ヲ課シ職員率先生徒ヲ指導シ生徒亦熱心之ニ従事ス

修學旅行 第三學年第二部生ハ五月二十八日大野郡平泉寺村へ昆蟲採集旅行ヲ爲シ二泊セリ

全校生徒ハ六月十八日ヲ以テ吉田郡永平寺へ植林視察ノ爲旅行シ一泊ノ上歸校セリ

又全校生徒ハ十一月二日大野郡重要物産品評會視察トシテ大野町へ旅行シ其ノ第一二兩學年生ハ即日第三四兩學年生ハ一泊ノ上歸校セリ

又全校生徒ハ二月十九日坂井郡丸岡町方面ニ於テ發火演習ヲ行ヒ一泊ノ上歸校セリ

學校ト實業界トノ關係 學校ハ常ニ講話其ノ他ノ方法ニ依リ農事教育ノ要ヲ一般ニ知ラシムルコトニ勉メ一般農業界ニ在リテハ之ヲ實地ニ見之ヲ講話ニ聞キ以テ漸次實業教育ノ重スヘキヲ了得スルニ至レルカ如シ

小濱水産學校

學校ノ設備 大正二年十二月燒失ニ係ル寄宿舎及附屬建物ハ大正三年三月復舊工事ニ著手シ同年九月竣功ヲ告ケタリ其ノ坪數從來ト大差ナキモ諸般ノ設備大ニ整備セリ而シテ之ト同時ニ後置ヲ改築シ又新ニ煉製室ヲ建築シテ實習上ノ便利ヲ得タリ

圖書器械標本類及器具モ漸次購入シ補充スルヲ以テ教授上ノ支障ヲ見ス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任六人、兼任二人ニシテ其ノ資格別次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者	專任五人
文部大臣ノ認可シタル者	專任一人、兼任二人

生徒訓育ノ狀況 常ニ實踐躬行以テ生徒ヲ指導シ學校長ハ祝祭日其ノ他式日ニ於テ訓話ヲ爲シ又毎月一二回教員生徒ヲ一堂ニ集メ教授訓育衛生等ニ關スル注意事項ヲ訓示シ兼テ水産界ノ變遷進歩ノ狀況ヲ講話ス其ノ他家庭ノ訪問視察、寄宿舎ニ於ケル指導、舎生間ノ友愛ヲ旨トセシムルコト等從來ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 學力不十分ナル生徒ニハ特ニ其ノ學科ニ就キ受持教師監督ノ下ニ放課後一週一回乃至二回復習ヲ行ハシメ學力ヲ補充スルノ制ヲ設ケ之ヲ實行セリ其ノ方法ハ例ヘハ英語ニ於テ學力不十分ナルモノニハ該學年ノ成績優等ナル生徒ヲシテ教師ノ教授シタル事項ニ就キ反覆復習セシムルヲ以テ漸次學業進歩シ又優等ナル生徒モ益好成績ヲ舉グルニ至ル之カ爲大ニ落第者ヲ減スルコトヲ得タリ

生徒實習及修學旅行ノ狀況

實習 漁撈科ハ若狹海ニ於テ運用航海ニ關スル練習ヲ行ヒ又若丹近海ニ於テ各種釣及網漁業ヲ實習シ夏期休暇ヲ利用シ實習船ヲ隱岐國ニ廻航シテ沿海至ル所ノ漁村ニ寄港シ同漁村ニ行ハルル漁業及漁具等ニ就テ調査ヲ爲サシメタリ

製造及養殖科ハ例年ト大差ナキモ本年度十一月滋賀縣水産試驗場知內孵化場及小松養魚場ニ出張シ鯉人工孵化法ヲ實習セシメタリ

修學旅行 製造及養殖科生ハ大正三年九月二日ヨリ十三日迄十二日間滋賀、愛知、静岡、兵庫及大阪ノ一府四縣へ實習及調査ノ爲修學旅行ヲ行ヘリ其ノ狀況ハ滋賀縣ニ於テハ鯉、鯉、鰻等ノ養殖法ヲ調査シ静岡縣ニ於テハ主トシテ鯉節製造實習ヲ爲シ且ツ燒津漁業組合ノ調査ヲ行ヘリ愛知縣ニ於テハ熟田魚市場ノ調査及蒲鉾ノ實習ヲ爲シ大阪府ニ於テハ罐詰、布刺 貝卸製造業水産物ノ販路貿易上ノ相况等ヲ調査セシメタリ

學校ト實業界トノ關係 漁業組合其ノ他實業團體ヨリ水産ニ關スル講話、講習等ノ要求アルトキハ可及的職員ヲ派シ或ハ實地指導ヲ爲スコトアリ且ツ縣下主要ノ漁村ニ於テ短期水産講習會ヲ開催シ該地方適切ノ漁撈製造養殖業ニ就キ講話ヲ爲シ直接當業者ヲ誘致シテ之カ實行ヲ講スルノ方針ヲ執リ教育ト實業トノ關係ヲ密接ナラシムルニ勉メタリ

福井市立商業學校

學校ノ設備 校地校舍トモ前年ニ同シク圖書器械標本類及器具ハ漸次購入シ教授管理支障無シ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任九人、兼任二人ニシテ其ノ資格別次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者	專任八人、兼任二人
文部大臣ノ認可シタル者	專任一人

生徒訓育ノ狀況 教育ニ關スル勸諭ノ御趣旨ニ基キ一般國民トシテ又商業家トシテ必要ナル道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スルノ目的ヲ以テ生徒監二名ヲ置キ學級主任ト相俟テ風紀ヲ警メ學級主任ハ常ニ生徒ノ性行ヲ觀察シ生徒監ト共ニ之ヲ良風ニ導カンコトヲ勉メ又學校ト家庭

トノ連絡方法トシテ家庭ノ訪問、保證人ノ招喚、父兄談話會ノ開會、通告簿ノ設備及生徒ヲシテ生徒必携簿ヲ携帯シシムル等從來ノ如シ

生徒學業ノ進否 生徒學業ノ成績ノ前年度ニ比シ進歩ノ傾向ヲ示シ卒業生ノ如キモ智徳共ニ進ミタルヲ以テ實業社會ヨリノ信用ヲ受ケルコト著シク過半數ハ各種ノ會社商店ニ採用セラレタリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況
實習 卒業後直ニ實業ニ從事スルモ支障ナカラシメン爲本科第三學年ニ於テ内國商業實習及外國商業實習ヲ行ハシメ以テ平素學修セル各種ノ學科ヲ綜合シ之ヲ實地ニ應用スルノ能力ヲ養フ其ノ内國商業實習ニ於テハ第一學期中ニハ商業上一般ニ注意スヘキ事項ヲ初トシ書類手形等ノ取扱其ノ他帳簿通信書類等ノ整理ニ至ル迄商業上ノ手續ヲ主トシテ實際ノ方面ヨリ之ヲ知ラシメ第二學期以後ニ於テハ生徒各自ヲシテ個人商人ト假想シ任意ニ自家營業ノ種類ヲ選擇シ之ヲ自由ニ經營セシム其ノ方法トシテハ前記個人商人ノ外ニ銀行鐵道及海上運送保險通信其ノ他個人商人ノ商業上利用スヘキ諸般ノ施設ヲ模擬シ以テ平素修得セル知識ヲ應用セシメ各生徒ヲシテ最モ進歩セル商業取引ノ方法ヲ習熟セシム、外國商業ノ實習ニ於テハ外國ト商業取引ヲ爲スニ當リ直接間接遭遇スル諸種ノ手續ヲ處理スルノ能力ヲ養ハシ爲假設ノ取引問題ニ依リテ往復文書電報其ノ他各種ノ書式ヲ作成セシメ以テ英文ノ研究ヲ爲サシムルト共ニ米ニ於ケル商習慣ノ大要ヲ知ラシム

修學旅行 本科第二、三學年生ヲ京濱地方ニ旅行セシメ各種ノ會社、銀行、取引所、商店、工場等ヲ博ク參觀見學シ以テ學校ニ於テ商業學、商品學等ニ於テ充分理解セサリシコトヲ明瞭ナラシメ又歴史、地理、理科上ノ知識ヲ實際ニ受得シタルコト蓋シ尠ナカラス効果ヲ收メタルコト大ナリ

學校ト實業界トノ關係 本校ハ卒業生ノ出スコト既ニ五回ニ及ヒ其ノ成績漸次良好ナルヲ以テ實業界ニ於テモ亦商業教育ノ必要ヲ認メ入學志願者モ漸ク其ノ數ヲ増シ本年豫科ニ入學ヲ志願シタル者百三十六人ニ上リ其ノ内八十七人ノ入學ヲ許シ同第一學年ノ學級ヲ増シテ二學級ト爲シタルノ狀況ナリ

敦賀町立商業學校

學校ノ設備 前年度ト大差ナキモ大正四年度入學生徒増募準備トシテ商品標本室、理化學器械室ニ模倣替工事ヲ施シ又遠隔ノ地ヨリ入學スル者漸次多キヲ加フルヲ以テ大正三年一月ヨリ假寄宿舍ヲ設ケ畜監ヲ命シテ監督セシムルコトトナレリ參考書籍、器械標本類ハ年々購入シ其ノ完備ヲ圖リツツアリ而シテ本年度ニ於テハ内外時勢ノ必要ニ鑑ミ化學分拆ノ設備ニ多クノ費用ヲ投シタリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任六人、兼任二人ニシテ其ノ資格別次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 專任五人、兼任二人

文部大臣ノ認可シタル者 專任一人

生徒訓育ノ狀況 生徒訓育ノ指針タルヘキ綱領ヲ定メ之ニ準據シテ品性ノ陶冶ヲ計リ生徒ヲシテ踐行スルニカメシメ常ニ校ノ内外ニ於テ紀律ヲ嚴守センコトヲ期シ或ハ生徒ノ行爲動作ニ注意シテ戒飭ヲ爲シ或ハ擔任教員自ラ家庭ニ就キテ事情ヲ調査スル等内外呼籲シテ遺漏ナキヲ計リ而シテ退嬰萎縮ノ風ニ陥ラサシメシメカ爲常ニ敢爲事ニ副エルノ精神ヲ鼓吹シ又身體ノ鍛鍊ヲ計ル爲ニ毎學期少クトモ一回ハ郊外遠足ヲ行ヒ及柔道、擊劍、船艇、庭球、野球等總テノ運動ヲ獎勵シ尙七月十八日ヨリ一週日ニ亘リ水府流ノ水泳教師ヲ聘シ游泳練習ヲ爲サシメタリ

生徒學業ノ進否 學業成績ノ前年ニ比シ著シキ優劣ヲ認スト雖之ヲ概言スレハ多少進歩ノ傾向アルヲ疑ハス即チ全生徒總平均點ハ七十五點餘ナリ

生徒實習及修學旅行ノ狀況

實習 各學科目ノ授業ニ當リテハ可成ノ實際ニ觸レシムルコトヲ力メツツアリ特ニ本科第三年生ニ對シテハ商業實踐ヲ課シ第一學期ハ同時ニ同業法ニ依リ其ノ他ハ模擬實踐法ニ從ヒテ指導誘掖ノ任ニ當レリ然ルニ生徒ハ大ニ趣味ヲ感シ隨テ効果尠ナカラサルヲ認メタリ尙此ノ實踐ノ傍ラ時々銀行、税關、停車場、商店等ノ實際調査ニ關スル問題ヲ興ヘ調査セシメ彼此對照シテ心ニ會得スル所アラシメ而シテ其ノ結果ヲ報告書トシテ提出セシメタリ

修學旅行 十月二十日ヨリ二十五日迄ノ間ニ豫科第一年生ヲ福井地方ハ豫科第二年生及本科第一年生ヲ金澤地方ヘ其ノ他ハ京阪神地方ヘ修學ノ爲旅行セシメタリ

學校ト實業界トノ關係 前項記述ノ如ク實地調査ヲ命シ其ノ他機ヲ得テ實社會ノ空氣ニ觸レシムルノ外南洋又ハ支那歸客ヲ聘シ講話ヲ聞カシメ又化學分拆ノ依頼ニ應スルノ準備ヲ爲シ他テ實業界トノ連絡ニ留意セリ

坂井郡立女子實業學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ニ異ナラス然レトモ本年度ヨリ補習科ヲ置キ其ノ修業年限ヲ一箇年トシ本科卒業者ニシテ尙殘餘希望ノモノヲ入學セシメ所定ノ科目ヲ研究セシムルコトトセリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人、女四人アリ其ノ資格別次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 男二人、女三人
文部大臣ノ認可シタル者 女一人

外ニ小學校教員(訓導)ヨリ兼務囑託ノ者男一人アリ
生徒訓育ノ狀況 女子職業ニ須要ナル學術技藝ヲ授ケ兼テ淑徳ヲ養成スル目的ノ下ニ實業ニシテ勤勞ヲ學ブ習慣ヲ與フルコトニ心ヲ致シ總テ生徒自動自治ノ方針ヲ執リツツアリ
生徒學業ノ進否 裁縫、刺繡、造花、編物等實科ニ關スルモノハ殊ニ良好ナル成績ヲ顯ハシツツアリ養蠶ニ於テモ趣味向上シ學科ニ於テモ書方、圖畫、綴方ノ如キハ成績良好ナルモノアルヲ認ム

生徒實習及修學旅行ノ狀況 生徒ハ熱心實習ニ從事スルコト
従前ニ異ナラス修學旅行トシテハ石川縣下那谷寺方面ヘ一
回赴キタルノミナリ

學校實業界トノ關係 未タ十分ナル連絡ヲ見ルニ至ラサルモ
漸次接近スルノ傾向アリ入學者モ年々増加ノ狀ナリ

大野郡立實業女學校

學校ノ設備 本校ハ校舍、寄宿舎 講堂、養蠶室ノ四棟ヲ有シ
圖書、器械、標本類及器具モ相當ニ具備シ管理上教授上取テ
支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人、女四人、兼任男二
人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタルモノナリ

生徒訓育ノ狀況 教育勅語及戊申詔書ノ御趣意ニ基キ實踐躬
行ヲ勵獎シ且ツ校訓ヲ定メテ日常ノ生徒ニ示シ毎月定期
又ハ臨時ノ講堂訓話ニ依リ時事問題ヲ利用シ女子ノ本分
ヲ諭ス等常ニ勤儉、溫良、貞淑ノ徳ヲ涵養セシメトテ期シ
タリ

生徒學業ノ進否 本校ハ學科資料ノ二ツニ分チ教授ヲ爲シ裁
縫ニ在リテハ一齊教授法ヲ採レリ而シテ生徒ノ學業ハ相當
ニ進歩シツツアリ

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 本年度ニ於テモ春秋蠶登ノ
實地飼育ヲ爲シタリ其ノ掃立蠶量六匁七分ニ對シ收繭二十
七貫餘價格百貳圓ヲ得成績佳良ナリキ修學旅行トシテハ福
井市及金澤市ヘ赴カシメ又春秋二回郊外ニ遠足運動ヲ爲サ
シメタリ

學校ト實業界トノ關係 裁縫、手藝等ハ實物練習ニ重キヲ措
キカメテ實際ニ適切ナラシメンコトヲ期シ又毎年生徒製作
品展覽會ヲ開キテ一般縫覽ニ供シ且ツ其ノ製作品ハ一手若
ハ個人ニ相當代價ヲ以テ賣却シ學校トノ關係ヲ密接ナラシ
ムルコトニ注意セリ

遠敷郡立小濱女子技藝學校

學校ノ設備 校舍内外ノ設備漸ク整理ヲ告グ圖書、器械、標
本類モ年々幾分ヲ購入スルヲ以テ教授上管理上支障ヲ見ス
教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男一人、女二人ニシテ皆文
部大臣ノ認可シタル者ナリ

生徒訓育ノ狀況 技能ノ熟練勞動精神ノ涵養婦徳ノ養成ニ注
意シ家庭生活ノ實習ニ便ナラシムル爲メ寄宿舎ノ設備等ヲ爲
セルコト前年ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 學業ノ成績普通ナルモ幾分進歩シタルヲ疑
ハス

生徒實習及修學旅行ニ關スル狀況 裁縫、染織ノ實地練習ニ
重キヲ置ケルコト前年ニ異ナラス而テ修學旅行ハ未タ之ヲ
行ハス

學校ト實業界トノ關係 學校ニテハ毎年二回生徒成績品展覽
會ヲ行ヒテ其ノ成績品ヲ販賣シ一ハ以テ教授上ノ改善ニ資
シ一ハ以テ學校事業ノ普及ニ力メタリ

實業補習學校

實業補習學校ハ工業ニ農業百八十四(外ニ分教場三)水産七、
商業六其ノ他三十三(漁船無シ)計二百三十二(外ニ分教場三)
ニシテ前年ニ比シ水産ニ於テ二校ヲ減シタルモ農業ニ於テハ
校商業ニ於テ一校其ノ他ニ於テ五校ヲ増シタリ毎年記述ノ如
ク實業補習學校ハ寺院又ハ大字共有ノ建物ヲ代用スルモノナ
キニ非サルモ多クハ小學校若ハ其ノ他ノ學校ニ附設スルモノ
ナルヲ以テ設備上ニ於テハ殆ト缺クル所ナク教員モ樹子小學
校教員ノ兼任ニシテ教授時季ハ農閑ヲ利用シ若ハ夜間ニ於テ
スルモノ多シ生徒ハ漸次増加シ其ノ成績モ熱心通學スルモノ
多キヲ見ルニ至リ學業ノ進歩隨テ善良ナルカ如シ之ヲ徵兵檢
査ノ際ニ於ケル壯丁教育調査ノ結果ニ徵スルモ小學校卒業後
實業補習學校ニ於テ修業セシモノハ比較的優等ナルハ當然ト
謂フヘキカ實習トシテハ生徒各自ノ家庭ニ於テ其ノ業ニ從事
スルヲ以テ學校ニ於テ之ヲ爲スノ要ナキカ如クナルモ尙青年
會、青年團體等ノ事業タル蔬菜園、果樹園、水田等ヲ共同試作
スルモノ尠ナカラス又明治四十三年ヨリハ郡農會技手大正二
年度ヨリハ郡農會技手、郡技手大正三年度ヨリハ郡書記ヲ加
ヘ農業科ノ巡回教授及蠶業科ノ巡回教授ヲ實行セシメ或ハ實
業上ノ講話ヲ爲シ啓蒙シタルモノアリ是ニ由テ生徒等ハ其ノ
智識ヲ得自カラ共同試作ヲ爲シ果樹園ヲ設置スル等効果尠ナ
カラサルヲ認ム修學旅行トシテハ往々他村若ハ他郡ノ耕地整
理農事試驗場其ノ他ノ施設ヲ視察シタルモノアリ此ノ如クナ
ルヲ以テ近年實業補習教育ノ必要ヲ認ムルモノ漸ク多キヲ加
ヘ隨テ學校ト實業界トノ間相接近スルハ疑フヘカラサルノ事
ナリ依テ兩者ノ關係益密接ナラシメン爲メ生徒栽培ノ果樹蔬菜
米麥等ノ品評會ヲ學校内ニ舉行シ公衆ニ縦覽セシムルカ如キ
ハ一方法ナルヘキカ現ニ本年度ニ於テ或一ニ學校ニ在リテ
ハ之ヲ開設シタリ

各種學校

小學校ニ類スル各種學校 市立一、町村立十、私立一ニシテ
前年ニ比シ増減無シ是等各種學校ハ多ク小學校内ニ設ケラレ
教員亦小學校教員ノ兼務スル者多キヲ以テ設備教授孰モ支障
ヲ見ス學校維持ノ方法ハ授業料寄附金若干アルモ多クハ市町
村費支辨ニ依ルノ狀態ナリ學科ハ概テ裁縫ヲ主トシ修身、國
語、算術、唱歌等ヲ加ヘアリ而シテ其ノ私立ノ一校ハ仁愛女
學校ト稱シ明治三十一年福井市内ニ創立シタルモノニシテ現
今ノ修業年限ハ本科三年、高等科二年、裁縫研究科一年トシ
テ修身、國語、地理、歴史、算術、家政、習字、裁縫、手藝ヲ教
授ス其ノ程度小學校ニ比シ高ク高等女學校ニ比シ稍々低キ學
校ニシテ校舍、校地、寄宿舎等ヲ有シ設備殆ト完成シ年々相
當ノ卒業者ヲ出シ成績佳良ナリ翌年度ニ於テハ更ニ校地、校
舎ヲ擴張スルノ計畫アリ本縣ヨリハ明治四十三年度ヨリ大正
元年度迄ハ毎年參百圓大正二年度ハ金貳百八拾圓大正三年度
ハ金百五拾圓ヲ獎勵ノ爲メ交付シタリ
又町村立十校ノ内一校ハ敦賀町立敦賀女學校ト稱ス其ノ創立

遠ク明治十年ニ在リ初裁縫専科トシテ小學校内ニ附設セシカ爾來歲多ク變遷ヲ經テ獨立シ明治四十二年十一月高等小學校ノ改築ト同時ニ其ノ構内ニ校舎ヲ設ケテ以テ現今ニ至ルモノニシテ高等小學校卒業ノ女子ヲ入學セシメ之ヲ本科トシ尋常小學校卒業ノ女子ヲ入學セシメ之ヲ専科トス修業年限ハ孰モ三年ニシテ現在生徒本科八十三人専科五人アリ學科ノ内容殆ト實科高等女學校ニ等シク年々相當ノ卒業者ヲ出シ是亦成績良好ナリ

以上二校ハ小學校ニ類スル各種校學ニ編入スルハ認當ナラサルモ姑ク之ヲ編入セリ

私立北陸專修學院 本院ハ私立北陸中學校内ニ設ケラレ同校生徒中志望者ニ限リ佛教ヲ授ク教場其ノ他ノ設備上ニ於テハ何等ノ支障ヲ見ス學校維持ノ方法ハ各生徒ヨリ年額參圓ノ授業料ヲ徴收シ經費ハ總テ設立者タル本派本願寺之ヲ支辨ス而シテ北陸中學校授業時間ノ前後ヲ以テ每週二時間眞宗ノ教義每週一時間天台禪眞言其ノ他ノ教義ヲ教授ス各學科ヲ通シ時々講義ノ要領ヲ記載セル答案又ハ平素教場ニテ使用セルノートブック其ノ他時事問題ニ對スル解答等ヲ生徒ヨリ提出セシメ應用力、理解力ノ如何ヲ檢シ且ツ之カ増進ニカメツツアリ特ニ本年度ニ於テハ第三學年以上ノ者ニ梵唄科ヲ開設シ僧侶トシテ必要ナル法式ノ一般ヲ授ク又第四、五學年生ヲ福井市内寺院ニ派シ法式及布教ノ實習ヲ爲サシメ宗教家タルノ資格ヲ備ヘシムルコトニ勉メタリ

私立福井英語學校 本校ハ米國宣教團ノ設立スル所ニシテ福井市ニ在リ基督布教ノ傍ラ英語ヲ教授ス生徒ヨリハ授業料ヲ徴收シ又布教ト同經濟ノ收入アルヲ以テ學校維持上ニ於テハ支障無シ

學校衛生

學校清潔方法施行ノ狀況 師範學校、中學校、高等女學校、實業學校等ニ在リテハ日常ノ掃除毎季若ハ春秋二回大掃除ヲ爲シ或ハ藥品ヲ以テ消毒ヲ行フコト從來ノ如クニシテ小學校其ノ他ノ學校ニ在リテモ日常及定期臨時ニ掃除ヲ爲スヲ以テ一般清潔ヲ保テラ認ム

學校醫視察ノ狀況 師範學校、中學校、高等女學校、實業學校等ニ在リテハ年數區視察シ或ハ衛生講話ヲ爲スコトアルモ小學校ニ在リテハ時々學校醫ノ視察アリ衛生上ノ注意ヲ爲スモノナキニ非サルモ多クノ學校ハ年一回兒童身體檢査ヲ爲スニ止マルノ狀況ナリ

學校醫ノ資格別 學校醫ハ總テ百二十八人ニシテ其ノ資格別次ノ如シ

帝國大學醫科大學卒業	八人
元東京大學醫學部醫學科別科肄業科卒業	八人
官立醫學專門學校醫學部元高等學校及高等中學校醫學部醫學科卒業	五十三人
府縣立醫學學校卒業	十三人
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了	一人
醫術開業試驗及第	四十七人内女一人

生徒兒童健康ノ狀況 學校生徒兒童ハ概シテ健康ナリ

傳染病豫防及消毒ニ關スル狀況 校内ニ於テ傳染病發生セス然レトモ常ニ豫防ニ就テハ注意ヲ急ラス殊ニ傳染病發生ノ時季ニハ寢具、敷物其ノ他物品ハ日光消毒ヲ行ヒ或ハ薬物消毒ヲ行ヒタルコト從來ノ如シ

學校園學林及樹栽

師範學校ニ於ケル學校園ハ前年度ト大差無キモ構内ノ空地ハ之ヲ利用シテ教料及觀賞用植物ノ培養ニカメ本年度ニ於テモ更ニ五十坪ノ新開墾ヲ爲シ生徒ヲシテ其ノ管理ニ任セシメ園藝ノ趣味勤勞ノ習慣ヲ養フコトニ注意シタリ又明治四十二年皇太子殿下行啓記念ノ爲設ケタル有終園ハ漸ク成果多キヲ加フ依テ九月ノ記念日ヲ以テ生徒ニ試食セシメタリ而シテ其演美園ハ亦益美ヲ加ヘ共ニ當時ヲ回想セシムルニ足ルノ狀況ニ在リ又毎年卒業生ハ校庭ニ記念樹ヲ植ウルヲ例トス學林及樹栽ハ本縣模範林地ヲ無代使用シ明治三十八年以來杉檜ヲ植ヘシメ年二回以上職員生徒之カ下草刈ヲ爲ス

大野中學校ニハ百四十五坪中ノ植栽園ヲ有シ教材トナルヘキモノ標本トナリ研究材料トナルヘキモノ及觀賞植物ヲ植栽シ除草等ノ手入ハ教員生徒之ヲ爲ス

武生中學校ニハ學校園ヲ分チテ一般分類園觀賞植物園ト爲シ一般分類園ニハ教材トシテ必要ナルモノ即チ教料用書中ニ現ハルルモノノ中氣候風土ノ關係上培養スル能ハサルモノヲ除キ勉テ當地方ニ於テ得難キモノヲ栽植シ觀賞植物園ハ觀賞ニ便ナル場所ニ之ヲ設ケ十數種ノ花卉ヲ培養シ以テ美的觀念ヲ養成セントスルモノニシテ寄宿舎庭ニモ之ヲ設ケ而シテ除草培養等ノ手入ハ生徒ヲシテ之ヲ行ハシメ寄宿舎庭園ハ舍生ヲシテ之ヲ爲サシム

小濱中學校ハ學校園八十四坪ヲ有ス而シテ之ヲ矩形形十六ニ區分シ教材及觀賞用ニ供スル種々ノ植物ヲ適宜ニ栽植シ第一二學年生徒ヲシテ除草栽培セシム種子ノ蒔付苗木ノ移植等ハ教員之ヲ爲ス本園土質ハ海濱ノ沖積砂土ナルヲ以テ寒暑ノ影響ヲ受ケ時々客土法ヲ行フモ苗木ノ損害ヲ被ルコト少カラス福井高等女學校ハ構内ニ二百餘坪ノ學校園ヲ設ケ諸種ノ花卉ヲ栽培ス又運動場ノ一隅ニ御大典記念トシテ學園ノ設置ヲ計畫シ大正四年十一月ヲ以テ完成セシメントス

福井農林學校ハ構内ニ學校園ヲ有シ又大野郡平泉寺村ニ於テ山林五十八町歩ノ演習林ノ設ケアルハ當學校ノ項ニ述フル所ノ如シ

其ノ他小學校等ニ在リテハ學校園ヲ設ケルモノ漸ク多ク學林ハ山間部ノ村落ニ於ケル學校ニハ瓶子之ヲ設ケ兒童ヲシテ樹栽並手入等ヲ爲サシム

教員檢定免許狀授與

小學校教員無試驗檢定ハ臨時之ヲ施行シ試驗檢定ハ定期八月申福井市及小濱町、大野町ノ三箇所ニ於テ之ヲ行ヒタリニ前年三月中試驗ヲ行ヒ本年四月檢定確定ノモノヲ併セ檢定總人員男三百八十二人女百六十四人計五百四十六人ニシテ其ノ内合格者男百五十六人女八十四人ナリ同合格者及師範學校卒

業者男六十一人女六十二人ヲ併セ男二百三十八人女百四十六人計三百八十四人ニ職員免許狀ヲ授與セリ尙本年三月中大野郡大野町、敦賀郡敦賀町、今立郡栗田部村ニ於テ臨時教員養成所卒業者ニ對シ試験檢定ヲ行ヒタルモ四月ニ至リ檢定確定シタルヲ以テ別表ニハ之ヲ除外セリ

教員講習

私立福井縣教育會ハ遠敷郡小浜町ニ於テ一週間社會學、心理學及歷史講習會ヲ開キタルニ講習人員二百三十人ニ上リ又各部ニ於テハ概テ郡事業若ハ郡教育會ノ事業トシテ小學校教員講習會ヲ開カサルモノナク講習日數少ナキハ三日多キハ一週日ニシテ通算スレハ五十日ニ上リ講習人員千四百人ニ達ス講習科目ハ國語、體操、裁縫、理科、教育學、電氣學、民法自治及圖畫教授法等ナリ

教科用圖書

小學校教科用圖書ハ適當ニシテ供給十分ナルモ遲達ノ嫌ハ未タ除キ難ク一時差支フルモノ無キニ非ス

圖書館

圖書館ハ市立一郡立一村立一私立十四アリ前年ニ比シ市立一私立一増シタリ

市立福井圖書館ハ職員三人テ置キ専ラ圖書ノ整理閱覽等ノ庶務ニ従事シ諸般ノ設備亦整頓ス本年度開館二百九十七日閱覽人員一萬八千五百三十一人ニシテ前年ニ比シ開館一日ヲ増シ人員三千八百十六人ヲ加ヘタリ今其ノ閱覽ノ圖書ヲ種別スレハ次ノ如シ

	貸與圖書數	閱覽人員		貸與圖書數	閱覽人員
宗教哲學	194	2,545	美術及遊技	33	119
法政經濟	40	600	實業	31	213
語學	5	10	理化學	35	172
文學	178	3,291	雜書	271	2,138
歷史	165	1,032	新聞	19	5,576
地理	94	470	雜誌	42	2,365

又閱覽人員ヲ種別スレハ次ノ如シ

教員	59	僧侶	27	醫師	11
畫工	6	工業	248	牧師	1
官公史	194	新聞記者	20	會社員	124
農業	212	神職	3	軍人	—
生徒	7,276	商業	307	雜業	855
其他	9,188				

郡立三方圖書館ハ郡内各村即チ七箇村ニ圖書閱覽所七箇所ヲ置キ概テ尋常高等小學校ヲ以テ之ニ充テ而シテ圖書ハ之ヲ七箇ノ文庫ニ分納シ毎閱覽所ニ一箇宛ノ文庫ヲ配置シ二箇月毎ニ一度之ヲ順次巡回セシム本年度ヨリハ之ヲ甲種ト稱シ更ニ各村理髮所ニ閱覽所ヲ設ケ一箇所据置期間ヲ三箇月トシタル巡回方法ヲ設ケタリ之ヲ乙種ト稱シ甲種閱覽所ニ於ケル閱覽

人ハ小學校教員兒童及附近青年ノ輩ニシテ八千六百七十六人、乙種閱覽所ニ於ケル閱覽人ハ附近青年其ノ他ノ理髮客人等ニシテ千五百人ヲ算シタリ

私立小浜圖書館ハ小浜町教育會カ小浜尋常高等小學校内ニ設立スルモノニシテ本館及巡回ノ二方法ニ依リ閱覽セシム本館ニ於ケル閱覽人員ハ次ノ如クニシテ多クハ小學校教員及兒童其ノ他地方青年者ナリ

神書及宗教	52	歷史	46	文學	403
政治	24	統計	22	醫學	33
哲學	40	傳記	97	語學	78
經濟財政	22	數學	25	工學	25
地誌及紀行	112	教育	45	法律	35
商業及交通	31	社會	19	理學	59
美術及諸藝	22	兵事	31	産業	20
雜書	72				

巡回方法ニ依ルモノハ理髮所、女髮結所拾七箇所ヲ巡回セシメ専ラ便利ヲ旨トシテ方法ノ簡ヲ尙ヘラテ以テ閱覽者漸ク多ク三萬三千二百七十七人ヲ算スルニ至レルナリ

其ノ他各圖書館トモ規模甚小ニシテ設備十分ナラス圖書數亦多カラス

以上ノ外圖書館令ニ依ラサル圖書閱覽所ヲ設置セルモノ往々之レ有ルモ特記スヘキモナシ

小學校教員養成

本年度ニ於テハ大野郡大野町、敦賀郡敦賀町及今立郡栗田部村ノ三箇所ニ各郡事業トシテ四月初ヨリ三月迄尋常小學校准教員養成所ヲ開設シ三月修了者ニ對シ試験檢定ヲ行ヒ其ノ合格者ニ尋常小學校准教員免許狀ヲ授與シ不合格者中大野郡養成所ニ於ケル男一人ヲ除クノ外ハ證明書ヲ附與セリ今入學者檢定合格者不合格者ヲ細別スレハ次ノ如シ

	入學者		檢定合格者		檢定不合格者	
	男	女	男	女	男	女
大野	45	—	30	—	15	—
敦賀	5	5	4	2	1	3
今立	28	22	24	18	4	4
計	78	27	58	20	20	7

教育會

各郡市ニ私立各郡市教育會ヲ設ク其ノ數千ニアリ會員一萬人内外ニ及フ私立福井縣教育會ハ郡市教育會ノ聯合組織ニシテ別ニ會員ヲ有セス又町村ニハ私立町村教育會ヲ設クルモノ多ク其ノ數百三十三ニシテ會員三萬七千六百十九人ニ達ス而シテ縣郡市町村教育會ノ事業トシテハ教育ニ關スル研究調査小學校教員ノ講習教育學術ニ關スル講話學齡兒童ノ保護就學ノ獎勵學事視察圖書館及通俗博物館ノ經營教育機關雜誌ノ發刊其ノ他教育上ニ關シ貢獻スル所懸カラス殊ニ私立福井縣教育會ノ施設ニ係リ訓育學舍ハ盲者ニ普通教育ヲ按摩ニ關スル特殊ノ技藝ヲ授ケ自立ノ道ヲ得セシムルノ目的ヲ以テ大正二年

六月ヨリ日本赤十字社福井支部内ノ一棟ヲ借受ケ授業ヲ開始セリ即チ創立日尙淺ク未タ卒業者ヲ出ス能ハサルモ其ノ成績頗ル良好ニシテ益將來ノ發展ヲ期シツツアヨリ依テ本縣ヨリハ獎勵ノ爲金五百圓ヲ交付セリ今同訓育學舎生徒數等ヲ擧ケレハ次ノ如シ

修業年限	教授科目	講師	生徒			
			第一年		第二年	
			男	女	男	女
二年	點字、按摩、生理衛生、修身、國語算術	專任(有給) 1 兼務(無給) 3	7	—	12	3

備考生徒ニハ點字版、點字用紙等ヲ貸與若ハ給與ス

青年團體

青年會ハ縣下到處ニ普及シ其ノ會數二百二十九、會員實ニ三萬三千四百十六人ノ多キニ達ス而シテ一町村内數部ニ分レタルモノハ多クハ之ヲ統一スル爲一町村青年團體ニ組織シ或ハ各町村青年團體ヲ聯合シテ一郡青年團體ト爲ス各青年團體ハ概シ農閑ノ時季ヲ以テ補習教育ヲ受ケ或ハ講話會ヲ開キ以テ各自修養ヲ爲シ又實業ノ方面公共ノ方面ニ於テモ種々ノ事業ヲ爲シ或ハ模範青年ノ表彰風紀ノ改善ヲ圖ル等成績ノ觀ルヘキモノ少ナカラス就中大野郡石徹白村青年會ノ如キハ成績良好ナルヲ以テ文部省ヨリ選奨セラレタリ

縣會郡會及市町村會

大正四年度教育費ハ縣ニ在リテハ經常費拾八萬千七百貳拾九圓臨時費壹萬貳千貳百參拾八圓ヲ決議シタリ即チ經常費ハ原案通臨時費ハ原案ヨリモ貳千八百圓ヲ增加シタルモノトス經常費中ニハ新設工業學校ノ費用六千六百七拾參圓ヲ編入シタル爲縣會ノ議論一時沸騰シタルモ終ニ原案ニ決シ臨時費ニ於テハ敦賀町立商業學校ノ補助貳千五百圓ヲ四千五百圓トシ其ノ他ノ補助學校四校及縣教育會補助ハ何レモ若干増額シタリ郡市町村ニ在リテモ其ノ歳出ノ大部ヲ占ムル教育費ノ評決ハ概シテ平穩ニシテ不當ノ削減ヲ行ハス

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員トシテハ内務部長視學官各一人視學二人(内一人二月中缺)屬二人、雇二人ニシテ各郡役所ニハ郡視學一人ツツ多クハ教育事務ノ課長ヲ兼ね其ノ課員ニハ郡書記又ハ雇員ノ内一人若ハ二人ヲ以テ之ニ充ツ市役所ニハ市書記一人、市書記補一人、町村役場ニハ書記一人若ハ二人ヲ以テ學事事務ヲ處理セシム尙市町村ニハ區長及學務委員ヲシテ事務ヲ補助セシムルコト從前ノ如クナリ

内務部長及視學官ハ特ニ學校ヲ視察シ或ハ他ノ用務ノ傍ラ巡視シ又郡市教育會等ニ列席シテ教育ノ發達指導ニ勉ムル所アリ縣視學ノ縣下巡視日數ハ總テ百八十日ニ上リ各郡ニ在リテハ郡長ハ特ニ學校ヲ視察シ或ハ町村巡視ノ際併テ學校ヲ視察シ又郡視學ハ一回若ハ二回學校ヲ巡視シテ監督指導シ以テ教育ノ實績ヲ擧グルコトニ勉メタリ

學事獎勵

師範學校ニ在リテハ前年ノ如ク教育實習中小學校ニ關スル問題ヲ研究セシメ又生徒ノ學業成績ヲ本人ニ告ケテ注意ヲ促シ或ハ豫習復習ヲ共ニセシメ或ハ寄宿舍上級生ヲシテ同室ノ生徒ヲ指導監督セシメ或ハ男女生徒ノ學藝會ヲ開キ又男生二人女生三人ノ在學中一時間ノ缺席ナク皆勤シタルヲ賞シ精勤證書ヲ與ヘタリ

福井中學校ニ在リテハ毎年ノ如ク生徒ノ勤勉ヲ獎勵セン爲學年中皆出席ノ者ニハ生徒獎勵費及前田(元教員)獎勵學資金明新會寄附金ノ利子ヲ以テ賞與ヲ行ヒ大野中學校ニ在リテモ前年ノ如ク學業成績優等ノ者八人、五年間皆勤者一人、一年間皆勤者三十三人ニ皆勤證書ヲ授與セリ武生中學校ニ在リテハ生徒ノ勤勉ヲ獎勵シ一年間皆勤者ニ一等精勤褒狀之ニ次ク者ニ二等精勤褒狀ヲ與ヘ四年間又ハ五年間精勤ノ者ニハ特別精勤褒狀ヲ授與シタリ小濱中學校ニ在リテハ成績優等ナル者三十六人、學年中皆出席六十四人ニ賞狀ヲ授與シ又前年度ノ如ク舊小濱藩主伯爵酒井家ノ委嘱ヲ受ケ酒井家舊領地内ニ本籍ヲ有スル生徒ニシテ身體強健品行方正學力優秀ナル者及苦學勉勵他ノ模範トナルヘキ生徒ヲ選定シ第一學期ノ初ニ十二人ニ對シ授業料二箇月ニ相當スル金額四圓ツツ第二學期ニ於テ十三人ニ對シ同金額ヲ第三學期ニ於テ十一人ニ對シ授業料一箇月ニ相當スル金額貳圓ツツヲ交付シ專ラ伯爵家獎學ノ趣旨ヲ貫徹セシメ傍ラ學事獎勵ノ資ト爲シタリ其ノ他同校ニ於テハ擊劍、柔道等モ大ニ獎勵シ精勵者ニハ賞狀ヲ授與シ又大ニ水泳ヲ練習セシメ沖波試驗ノ結果五里合格者四人三里合格者十人、二里合格者一人、一里合格者二十三人、三町乃至二十町合格者三十人ニ夫々沖波試驗合格證書ヲ交附シタリ

高等女學校ニ在リテハ一年間及四年間皆出席ニシテ品行方正學業優等ノ者ニハ賞狀ヲ與ヘテ獎勵セリ

實業學校ニ在リテハ福井農林學校ハ時々職員ヲ各郡ニ派シ生徒ノ父兄其ノ他有志ニ對シ農事ノ講話ヲ爲シ又生徒ノ製作品ヲ校内ニ陳列シ參觀人ノ縱覽ニ供シ及年一回若ハ二回生徒ノ生産製作品品評會ヲ催シ生徒ヲシテ審査ノ任ニ當ラシメ等級ヲ附シテ授賞シ又地方教育會品評會等ニハ參考品トシテ生徒試作ノ蔬菜類及製作品ヲ出品シ以テ獎勵ニ勉メタルコト前年ノ如シ小濱水産學校ハ水産教育普及ノ目的ヲ以テ敦賀郡敦賀町、三方郡北西郷村日向、南條郡河野村甲樂城、大飯郡本郷村本郷、同郡青郷村青郷ニ於テ青年及當業者ヲ集メ短期水産講習會ヲ開催シ各專門ノ教師ヲ派遣シテ漁撈製造養殖ノ講習ヲ行ヒテ水産業ノ獎勵ヲ爲シタリ

小學校ニ在リテハ貧困ノ學齡兒童ヲ保護シテ就學セシムル施設ヲ爲スモノニ對シテハ本縣ヨリ獎勵金ヲ交付シ又町村ヨリモ多少ノ補助ヲ爲シ其ノ他教育會青年會等ノ活動ヲ促シ通俗教育青年教育ノ普及發達ニ資シ小學校農事實習地、學校園、學林等ノ設置ヲ獎勵シ或ハ補習教育ノ普及ヲ計ル爲各村青年夜學會ノ開催ヲ獎勵セリ尙アリ其ノ施設殆ト前年ニ異ナラス尙酒井伯爵家ノ委託ニ係ル獎學資金ヲ以テ舊小濱藩所屬各郡

ノ優異子弟ヲ賞與スル所アリタリ

將來學事施設上須要ノ件

教育上將來施設ヲ要スル件多シト雖經費ノ件ハサルモノ尠ナク隨テ一時ニ之ヲ行フコト頗ル難キカ故ニ概テ前年來ノ事項ノ實行ヲ期セントスルモノニシテ次ノ如シ

- 1 學校基本財産ノ造成ヲ獎勵スルコト
- 2 小學校中等學校教員並生徒ノ體育ヲ獎勵スルコト
- 3 教育内容ノ改善
- 4 通俗教育及盲人教育ノ普及發達
- 5 優良教員ノ供給ヲ裕ナラシムルコト
- 6 六實業教育ヲ獎勵シ乙種實業學校ノ施設ヲ爲サシメ實業補習學校ノ内容充實ニ勉ムルコト

公 學 費

大正三年度本縣及註市町村公學費ノ概況ヲ敘述スレハ次ノ如シ

縣公學費總額ハ貳拾參萬參千六拾圓ニシテ經常費拾七萬千九百壹圓臨時費六萬千五百拾九圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費四千參百五拾八圓ヲ減シ臨時費貳萬千七百七圓ヲ増シタルハ各學校トモ勉メテ節約ヲ圖リ且ツ師範學校私費生ノ數ヲ多クシタルニ由リ生徒給費ニ於テ千餘圓ヲ減シタルヲ主トシ各校ヲ通シ圖書、器械、標本、器具、消耗品費其ノ他ノ各費ニ於テモ亦多少ヲ減シ修繕ヲ要シタル箇所モ前年ノ如ク多カラス且ツ書記、舍監、校長ノ俸給及雜給ノ支出ヲ減シ唯教諭、助教諭、代用教員ノ俸給、旅費、借地、借家費ニ於テ幾分ノ増加ヲ見タルニ過キス然ルニ新營費ニ在リテハ前年燒失シタル小濱水産學校寄宿舎並附屬建物ノ新築ヲ要シタル等ニ由リ大ニ之ヲ増加シタルモノナリ

縣公學ニ屬スル收入總額ハ六萬三百拾六圓ニシテ經常收入四萬九百一圓臨時收入千七百圓基本財産トシテノ收入一萬七千七百拾五圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常收入千百拾壹圓基本財産收入千七百貳拾九圓ヲ増シ臨時收入貳千百圓ヲ減シタルハ授業料及基本財産ヨリ生スル收入ヲ増加シタルモ福井農林學校國庫補助ノ廢セラレタルヲ主ナル原因トス郡公學費總額ハ貳萬九千七百七拾參圓ニシテ經常費壹萬六千貳拾圓臨時費壹萬參千七百五拾參圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費千六百參拾六圓臨時費九千六百七拾圓ヲ増シタリ是レ代用教員、舍監俸給、旅費、雜給、消耗品費ニ於テハ多少減額シタルモ學校長、教員、書記等ノ俸給及其ノ他各費ニ於テ何レモ増加セサルモノナキ結果ニシテ整年度ヨリ開校スヘキ今立郡立農學校ノ新築其ノ他ノ費用ヲ掲ケタルヲ主ナル原因トス

郡公學ニ屬スル收入總額ハ七千四百五拾貳圓ニシテ經常收入貳千九百五拾圓臨時收入四千五百貳圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常收入ニ於テ六拾五圓ヲ減シ臨時收入ニ於テ千貳圓ヲ増シタルハ雜收入ニ於テ百八拾六圓ヲ減シタルモ授業料寄附金及國庫補助ニ於テ増シタルニ由ル

市公學費總額ハ七萬五千五百拾四圓ニシテ經常費五萬八千三百四十七圓臨時費壹萬七千六百拾七圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費千七百拾五圓臨時費參千貳百七拾貳圓ヲ増シタルハ學校備品ノ調整ニ伴ヒ圖書、器械、標本費ヲ要スルコト尠ナク旅費消耗品費ヲ節約シ又學校長及准訓導ノ俸給ニ於テ多少減額シタルモ教諭、助教諭、訓導等ノ俸給其ノ他各費ニ於テ何レモ増加シタルニ由ル

市公學ニ屬スル收入總額ハ壹萬八千貳百七拾七圓ニシテ前年ニ比シ貳千九百九拾五圓ヲ増シタルハ國庫補助ヲ除クノ外授業料保育料其ノ他ノ各收入何レモ増加セサルモノ無キニ由ル

町村公學費總額ハ六十四萬八千八百壹圓ニシテ經常費五十五萬四千四百六十六圓臨時費九萬參千六百參拾五圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費五千四百九拾五圓臨時費一萬五千五百五拾五圓ヲ増シタルハ准訓導、代用教員、俸給、旅費、學校醫手當、借地、借家費、圖書、器械、標本費、消耗品費、教員住宅建築費ニ於テハ多少ノ減額ヲ爲シタリト雖訓導俸給其ノ他ノ各費ヲ増シ又校舍ノ改築ヲ爲シタルモノ多キニ由ル

町村公學ニ屬スル收入總額ハ五萬貳百七拾九圓ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ千五百八拾八圓ヲ減シタルハ授業料、保育料、基本財産ヨリ生スル收入、雜收入、郡費補助、縣費補助、國庫補助ニ於テハ何レモ増加シタルモ寄附金ニ於テ大ニ減シタルニ由レリ

公 學 資 産

本年度末公學資産ハ前年度末ニ比シ多少増加セリ今其ノ現況ヲ敘述スレハ次ノ如シ

縣公學資産ハ土地五萬貳千五百九坪建物一萬參千參百五坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額五拾六萬四千九百參拾四圓(外ニ橋梁價參百拾參圓)ニ上リ前年ニ比シ土地二千八百七拾六坪ヲ減シタルモ建物五十一坪ヲ増シ又價額參千參百五拾八圓ヲ増シタリ

基本財産ハ現在金額拾壹萬九千四百四圓ニシテ外ニ本縣費ヘ編入レアルモノ壹萬六千八百八拾六圓本縣模範林費ヘ繰入レアルモノ壹萬九千貳百拾五圓ニ及ノヲ以テ總計拾五萬四千八百五圓トナリ前年ニ比シ壹萬七千五百五拾圓ヲ増加シタルモノナリ

郡公學資産ハ土地四千二百五十四坪建物千三百四十八坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額四萬參千九百五圓ニ上リ前年ニ比シ土地二千二坪建物三百五十四坪ヲ増シ又價額壹萬七百貳拾七圓ヲ増シタリ但尙未タ基本財産ヲ有スルニ至ラズ

市公學資産ハ土地壹萬二百二坪建物六千八百六十五坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳拾五萬八千四百四拾四圓ニ上リ前年ニ比シ土地二百七十七坪建物六百一十一坪ヲ増シ又價額壹萬六千六百貳拾九圓ヲ増シタリ

基本財産ハ現在金額四千七百八拾八圓ニシテ前年ニ比シ百

六拾六圓ヲ増シタリ

町村公産資産ハ土地拾二萬千五百拾五坪建物七萬六千六百坪ニシテ之ニ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳百八萬九千四百五拾七圓ニ上リ前年ニ比シ土地三千二百三拾四坪建物千九百九拾坪ヲ増シ又價額七萬七千七百拾參圓ヲ増シタリ

基本財産ハ現在金額拾五萬四千六百九拾四圓ニシテ前年ニ比シ九萬六百參拾四圓ヲ増シタリ又田畑森林等ノ價額貳萬五千九百參拾六圓ニシテ前年ニ比シ四千八百八拾圓ヲ減シタルモ積立金ハ現在貳萬參千七百參拾八圓アリ前年ニ比シ七千五百六拾九圓ノ多額ナリトス

學校基本財産蓄積ノ方法ハ縣立學校ニ在リテハ師範學校、中學校、高等女學校ハ明治三十六年度以後五十年間實業學校ハ明治四十一年度以後四十五年間左ノ收入ヲ蓄積スルノ定メナリ

授業料 師範學校ハ收入額全部、中學校高等女學校實業學校ハ收入額ノ十分ノ二

入學手数料 收入額ノ十分ノ二

生産物、捕獲物及製作品賣却代金收入額ノ十分ノ五

不用品賣却代金、學資償還金基本財産利子ノ全部

師範學校ノ分ハ前記各自ヲ併セ一箇年ノ收入千圓ニ滿タルトキハ同學校生徒諸費殘餘金ヨリ其ノ不足額ヲ補填ス

其ノ他各學校ニ在リテハ經費ノ殘餘寄附金等ヲ以テ基本財産ヲ造設シ又學林等ヲ増設シ基本財産ニ編入シツツアルモ校舍建築等ノ爲之ヲ使用スルヲ以テ増殖十分ナル能ハス

各學校維持ノ方法ハ主トシテ縣稅及市町村稅ニ依リ其ノ他國庫補助縣郡補助及授業料寄附金雜收入等ヲ以テ之ヲ補フコト從前ニ異ナラス

尙大正元年度ヨリ本縣々有建物非常準備金積立規程ヲ設ケ毎年金貳千圓以上ヲ積立テ以テ非常ニ備フルコトトナシタルニヨリ縣立學校モ亦之ニ均霑スルコトトナレリ而シテ該積立金ノ現在額ハ參千百拾七圓參拾七錢ナリ

教育資金

本年度ニ於ケル教育資金ノ收入ハ資金利子貳千六百拾四圓四錢一厘貸附金返還八千六拾圓前年度繰越金參萬八百貳拾四圓七拾參錢一厘國庫下附金四千五百五圓貳拾參錢合計金四萬六千四圓二厘ニシテ其ノ内貳萬千七百七拾圓ヲ小學校建築費ニ充用ノ爲貸附シ千參百四拾四圓貳拾貳錢ハ獎勵費ニ支出セリ其ノ獎勵費ニ支出シタル細別次ノ如シ

金千參百四拾四圓貳拾貳錢 支出

内

- 金百五拾圓 成績優良ナル小學校ニ類スル各種學校一校獎勵金
- 金百五拾圓 通俗教育獎勵費
- 金五百圓 盲人教育獎勵費
- 金百圓 成績優良ナル小學校教員二名賞與

金五拾圓

金百參拾圓

金貳拾四圓

金貳百四拾圓

金貳拾貳錢

成績優良ナル町村吏員二名賞與

學齡兒童就學獎勵費一箇村へ交付

學齡兒童就學獎勵費四箇町村へ交付

學齡兒童保護團四十團額へ交付

雜費

市町村立小學校教員加俸資金

年功加俸ハ教員中成績優良ナル者ヲ選ヒ隨時ニ之ヲ給與シ又特別加俸ハ加俸令第七條第一項若ハ第四項ノ場合ハ事實ノ發生シタル時直ニ同第二項若ハ第三項該當ノモノハ成績優良ノ者ニ之ヲ給與シタリ

市町立小學校教員住宅費

市町村立小學校教員住宅費補助ハ從前ト同シク住宅建築費總額ノ十分ノ四ヲ交付セリ

本年度内ニ於テ補助金ヲ交付シタル住宅新築ノ學校數ハ尋常尋常高等ニシテ住宅建築戸數二戸ナリ而シテ其ノ本縣ヨリ補助シタル額參百七拾貳圓ニシテ次ノ如シ

補助金額	學校名
金貳百貳拾六圓	三方郡向笠尋常小學校
金百四拾六圓	丹生郡糸生尋常小學校



大正五年三月三十一日印刷

大正五年四月二十五日發行

福 井 縣

福井縣福井市毛矢町八十三番地

印 刷 者 河 合 仁 太 郎

福井縣福井市毛矢町八十三番地

印 刷 所 河 合 活 版 印 刷 部

1951年10月1日

1951年10月1日

1951

1951

1951

1951年10月1日